

# 決算補足説明資料

## 2017年度 第2四半期決算

2017年11月1日  
田辺三菱製薬株式会社  
証券コード: 4508



本資料に関するお問い合わせ  
広報部 TEL 06-6205-5211  
FAX 06-6205-5105

## 目次

<b>1</b>	<b>2017年度第2四半期 決算の概要</b>	
	1. 2017年度第2四半期 業績サマリー 2. 2017年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
<b>2</b>	<b>2017年度第2四半期 連結決算について</b>	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績	3
	② 主要製品売上収益	4
	2. 財務状況	5
	① 資産・負債・資本の状況	5
	② キャッシュ・フロー計算書	6
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費および償却費	7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	7
<b>3</b>	<b>2017年度 業績予想について</b>	
	① 損益予想	8
	② 主要製品売上収益予想	9
	③ 設備投資／情報システム開発投資予想 ④ 減価償却費および償却費予想	10
<b>4</b>	<b>5ヵ年連結財務数値</b>	
	日本基準 ① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値	11
	IFRS ① 損益計算書 ② 財政状態計算書 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
<b>5</b>	<b>四半期業績の推移</b>	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上収益	14
<b>6</b>	<b>新製品開発状況について(2017年11月1日現在)</b>	
	① 自己免疫疾患 ② 糖尿病・腎疾患	15
	③ 中枢神経系疾患 ④ ワクチン	16
	⑤ その他疾患	17
	2017年度第1四半期決算発表時点(2017年7月31日)からの変更点	18
<b>7</b>	<b>その他</b>	
	1. 関係会社	19
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 関連会社およびジョイントベンチャー一覧	19
	2. 株式の状況	20
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式分布状況(単元株)	
	④ 配当金／株価推移	20
	<b>参考</b>	
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	21

# 1 2017年度第2四半期 決算の概要

(億円未満切り捨て)

## 1. 2017年度第2四半期 業績サマリー

売上収益	2,133 億円	前年同期比	92 億円	4.5 %
○国内	1,607 億円	前年同期比	53 億円	3.4 %
○海外	526 億円	前年同期比	39 億円	8.1 %

売上収益は、前年同期比+4.5%、92億円増収の2,133億円となりました。

国内医療用医薬品は、関節リウマチ治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤「テネリア」、同「カナグル」等の重点品の売上が伸長し、前年同期比3.5%増収の1,572億円となりました。

海外医療用医薬品は、米国におけるALS治療薬「ラジカヴァ」の発売や為替影響などにより、前年同期比31.2%増収の139億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ヤンセンファーマシューティカルズに導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入は減少したものの、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に係るロイヤリティ収入の伸長に加え、導出に係る一時的な収益の計上や円安による為替影響もあり、前年同期比2.9%増収の396億円となりました。

コア営業利益	397 億円	前年同期比	△ 82 億円	△ 17.2 %
--------	--------	-------	---------	----------

コア営業利益は、売上収益は増収となったものの、研究開発費の増加や米国販売子会社ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ社における販売費及び一般管理費の増加などにより、前年同期比△17.2%、82億円減益の397億円となりました。

営業利益	368 億円	前年同期比	△ 109 億円	△ 22.9 %
------	--------	-------	----------	----------

営業利益は、前年同期比△22.9%、109億円減益の368億円となりました。

コア営業利益において除外された非経常項目は、製造子会社であるバイファの事業終息等の構造改革費用や、開発中止に伴う無形資産の減損損失などです。

税引前四半期利益	375 億円	前年同期比	△ 118 億円	△ 23.9 %
----------	--------	-------	----------	----------

親会社の所有者に 帰属する四半期利益	298 億円	前年同期比	△ 64 億円	△ 17.8 %
-----------------------	--------	-------	---------	----------

税引前四半期利益は、営業利益の減益に加え、受取利息や為替差益の減少などによる金融損益の悪化もあり、前年同期比△23.9%、118億円減益の375億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比△17.8%、64億円減益の298億円となりました。

## 2. 2017年度 業績予想サマリー

売上収益	4,330 億円	前期比	90 億円	2.1 %
コア営業利益	800 億円	前期比	△ 145 億円	△ 15.4 %
営業利益	810 億円	前期比	△ 130 億円	△ 13.9 %
税引前利益	820 億円	前期比	△ 140 億円	△ 14.6 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	635 億円	前期比	△ 77 億円	△ 10.9 %

## 3. 配当金

	2017年度			2016年度		
	上期末	期末(予想)	年間(予想)	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円) (うち、記念配当金)	38 (10)	28 -	66 (10)	24 -	28 -	52 -
配当性向	-	-	58.3%	-	-	40.9%

当社は、本年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当を実施いたします。

## 1. 損益状況

## ① 損益実績

(単位:億円)

	2017年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント (前年同期比較)
		2016年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	2,133	2,041	92	4.5	2,125	8	0.4	P4「② 主要製品売上収益」参照
国内	1,607	1,554	53	3.4	1,587	20	1.3	
海外 海外売上比率	526 24.7%	486 23.9%	39	8.1	537 25.3%	△ 10	△ 2.0	
売上原価 売上原価率	845 39.6%	783 38.4%	61	7.8	825 38.8%	20	2.4	シンポニーの増収等、 製品構成の変化による 売上原価率上昇
売上総利益	1,288	1,257	30	2.5	1,300	△ 11	△ 0.9	
販管費 販管費比率	514 24.1%	466 22.9%	47	10.2	520 24.5%	△ 5	△ 1.0	米国事業関連費用の 増加など
研究開発費 研究開発費比率	363 17.1%	303 14.9%	60	20.0	355 16.7%	8	2.5	後期開発品の開発進 展に伴う増加など
製品に係る 無形資産償却費	10	7	3	43.0	10	0	5.4	
その他損益(注2)	△ 2	△ 0	△ 1	-	-	△ 2	-	
コア営業利益	397	479	△ 82	△ 17.2	415	△ 17	△ 4.3	
非経常項目(注2)	△ 28	△ 1	△ 27	-	△ 10	△ 18	-	バイファの事業終息に向 けた費用などの構造改革 費用が発生
営業利益	368	478	△ 109	△ 22.9	405	△ 36	△ 9.0	
金融収益	12	18	△ 6	△ 34.8	-	-	-	
受取利息 ・受取配当金	6	13	△ 7	△ 51.7	-	-	-	
為替差益	2	5	△ 2	△ 43.7	-	-	-	
その他	2	0	2	-	-	-	-	
金融費用	5	2	2	71.5	-	-	-	
支払利息	0	0	0	5.6	-	-	-	
その他	4	2	2	100.5	-	-	-	
税引前四半期利益	375	494	△ 118	△ 23.9	410	△ 34	△ 8.3	
法人所得税	93	141	△ 48	△ 34.2	-	-	-	
四半期利益	282	352	△ 69	△ 19.8	-	-	-	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	298	362	△ 64	△ 17.8	325	△ 26	△ 8.2	
総人件費	359	357	1	0.5	363	△ 3	△ 1.0	

(注1) 2017年5月10日、2016年度決算発表時に公表した2017年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

(単位:円)

為替レート	2017年度上期 平均レート	2016年度上期 平均レート	2017年度 計画レート
米ドル	111.29	105.39	110.00
ユーロ	127.77	117.69	115.00

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2017年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2016年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,572	1,519	53	3.5	1,542	30	1.9
レミケード	329	338	△ 9	△ 2.7	326	2	0.9
シンボニー	153	121	31	25.8	139	13	9.6
タリオン	79	74	4	6.4	82	△ 2	△ 3.5
テネリア	93	80	13	16.3	86	7	8.1
レクサプロ	62	55	6	12.6	61	0	1.6
セレジスト	56	64	△ 8	△ 12.5	56	0	0.6
メインテート	55	61	△ 5	△ 8.8	52	3	6.6
カナグル	26	15	11	76.6	30	△ 3	△ 10.8
クレメジン	33	39	△ 6	△ 15.5	34	△ 1	△ 3.5
ラジカット	29	30	△ 0	△ 3.1	30	△ 1	△ 5.6
イムセラ	24	24	0	0.2	24	△ 0	△ 1.3
ウルソ	27	32	△ 5	△ 15.5	26	0	3.3
ワクチン	144	165	△ 20	△ 12.4	150	△ 6	△ 4.1
インフルエンザ	11	25	△ 14	△ 56.3	24	△ 13	△ 55.6
テトラビック	44	50	△ 6	△ 12.8	44	△ 0	△ 0.4
水痘ワクチン	27	28	△ 1	△ 4.1	28	△ 1	△ 5.3
ミールビック	29	32	△ 3	△ 11.4	26	2	7.7
田辺製薬販売取扱品(注2)	66	68	△ 2	△ 2.9	69	△ 2	△ 4.1
海外医療用医薬品	139	106	33	31.2	129	10	8.4
ラジカヴァ	11	-	11	-	非開示	-	-
ヘルベッサー	31	28	2	10.0	33	△ 1	△ 5.3
アルガトロバン	9	10	△ 0	△ 1.4	9	0	2.0
シンボニー	9	6	2	40.9	7	1	18.1
タナトリル	7	9	△ 1	△ 15.4	8	△ 0	△ 1.5
ロイヤリティ収入等	396	385	11	2.9	417	△ 21	△ 5.1
ジレニア ロイヤリティ	294	275	19	7.1	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	72	90	△ 17	△ 19.5	非開示	-	-
一般用医薬品	21	19	2	11.5	32	△ 10	△ 33.5
その他(注3)	2	9	△ 7	△ 74.4	3	△ 0	△ 20.1
売上収益合計	2,133	2,041	92	4.5	2,125	8	0.4

(注1) 2017年5月10日、2016年度決算発表時に公表した2017年度業績予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 2. 財務状況

### ① 資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2017年度 上期末	構成比%	2016年度末	増減額	主なポイント
<b>資産</b>	<b>10,190</b>	<b>100.0</b>	9,845	345	
<b>非流動資産</b>	<b>3,312</b>	<b>32.5</b>	3,007	305	
有形固定資産	835	8.2	858	△ 22	設備投資+25億円、減価償却△37億円など
のれん	807	7.9	803	4	
無形資産	709	7.0	612	97	製品に係る無形資産の増加など
持分法で会計処理されている投資	164	1.6	2	161	BIKEN株式取得による増加
その他の金融資産	508	5.0	516	△ 7	
退職給付に係る資産	200	2.0	147	52	年金資産時価評価による増加など
その他の非流動資産	4	0.0	4	△ 0	
繰延税金資産	82	0.8	62	19	
<b>流動資産</b>	<b>6,877</b>	<b>67.5</b>	6,837	40	
棚卸資産	781	7.7	791	△ 10	
営業債権(注1) (営業債権回転月数)	1,321 (3.72)	13.0	1,168 (3.31)	153	
その他の金融資産	2,016	19.8	3,542	△ 1,525	主に現金及び現金同等物への振替による減少
その他の流動資産	77	0.8	91	△ 13	
現金及び現金同等物	2,561	25.1	1,132	1,429	主にその他の金融資産(流動)からの振替による増加(ニューロゲーム買収資金手当のため) P6「② キャッシュ・フロー計算書」参照
売却目的で保有する資産	118	1.2	110	7	
<b>負債</b>	<b>1,243</b>	<b>12.2</b>	1,131	112	
<b>非流動負債</b>	<b>256</b>	<b>2.5</b>	247	9	
借入金	5	0.1	5	△ 0	
その他の金融負債	23	0.2	24	△ 0	
退職給付に係る負債	16	0.2	10	5	
引当金	76	0.8	78	△ 2	
その他の非流動負債	57	0.6	55	2	
繰延税金負債	77	0.8	71	5	
<b>流動負債</b>	<b>987</b>	<b>9.7</b>	884	103	
借入金	1	0.0	1	△ 0	
営業債務(注2)	360	3.5	357	3	
その他の金融負債	230	2.3	241	△ 11	
未払法人所得税	153	1.5	48	105	
引当金	4	0.0	0	3	
その他の流動負債	207	2.0	203	4	
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	29	0.3	31	△ 1	
<b>資本</b>	<b>8,947</b>	<b>87.8</b>	8,714	232	
<b>資本金</b>	<b>500</b>	<b>4.9</b>	500	-	
<b>資本剰余金</b>	<b>4,512</b>	<b>44.3</b>	4,511	0	
自己株式	△ 10	△ 0.1	△ 4	△ 5	
利益剰余金	3,713	36.4	3,534	179	当期利益298億円、配当金支払△157億円
<b>その他の資本の構成要素</b>	<b>102</b>	<b>1.0</b>	63	38	
<b>非支配持分</b>	<b>129</b>	<b>1.3</b>	109	20	

(注1) 営業債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注2) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

## ② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2017年度上期	2016年度上期	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,132	889	242
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>297</b>	<b>313</b>	<b>△ 16</b>
税引前利益	375	494	△ 118
減価償却費及び償却費	56	50	5
減損損失	11	0	10
受取利息及び受取配当金	△ 6	△ 13	7
持分法による投資利益(△は益)	△ 0	△ 0	△ 0
投資有価証券評価損	3	-	3
有形固定資産売却損益(△は益)	△ 0	△ 1	1
営業債権の増減額(△は増加)	△ 145	△ 52	△ 93
棚卸資産の増減額(△は増加)	9	△ 0	10
営業債務の増減額(△は減少)	0	37	△ 36
引当金の増減額(△は減少)	0	△ 12	12
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	1	△ 4	5
利息・配当金の受取額	7	14	△ 7
利息の支払額	△ 0	△ 0	△ 0
法人所得税の支払額	△ 39	△ 169	129
その他	23	△ 27	51
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>1,263</b>	<b>439</b>	<b>824</b>
定期預金の預入による支出	△ 1	△ 6	4
定期預金の払戻による収入	0	1,175	△ 1,175
有形固定資産の取得による支出	△ 50	△ 55	5
有形固定資産の売却による収入	0	5	△ 5
無形資産の取得による支出	△ 81	△ 9	△ 72
投資の取得による支出	△ 1,941	△ 1,216	△ 725
投資の売却及び償還による収入	3,337	545	2,792
その他	△ 1	0	△ 1
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 135</b>	<b>△ 120</b>	<b>△ 15</b>
非支配株主からの払込による収入	29	16	12
配当金の支払額	△ 157	△ 134	△ 22
その他	△ 7	△ 1	△ 6
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	5	△ 17	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,430	614	815
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 0	-	△ 0
現金及び現金同等物期末残高	2,561	1,504	1,057

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2017年度上期	2016年度上期	増減額	2016年度
設備投資額／発生ベース	25	74	△ 48	126
システム投資額／発生ベース	5	8	△ 2	18

2017年度上期の主な設備投資		2017年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	9億円	田辺三菱製薬	4億円
メディカゴ	8億円		
(ノースカロライナ工場増設)	(6億円)		

④ 減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2017年度上期	2016年度上期	増減額	2016年度
有形固定資産	37	35	2	73
無形資産(製品に係るものを除く)	7	8	△ 0	15
製品に係る無形資産	10	7	3	15

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売(注)	ミツビシタナベファーマホールディングスアメリカ	メディカゴ	天津田辺製薬	ミツビシタナベファーマコリア
売上収益	2017年度上期	148	66	43	1	25	30
	2016年度	295	141	84	3	50	48
	2016年度上期	148	68	27	1	24	22
営業利益	2017年度上期	18	△ 4	△ 20	△ 44	0	4
	2016年度	18	3	6	△ 63	2	4
	2016年度上期	14	1	1	△ 28	1	1
当期利益	2017年度上期	12	△ 2	△ 12	△ 45	1	3
	2016年度	14	2	4	△ 64	0	3
	2016年度上期	10	0	0	△ 29	△ 0	1
研究開発費	2017年度上期	2	-	19	45	1	-
	2016年度	7	-	34	67	2	-
	2016年度上期	3	-	14	29	1	-
有形固定資産減価償却費	2017年度上期	12	0	0	2	1	0
	2016年度	20	0	1	4	1	0
	2016年度上期	8	0	0	1	0	0
資産合計	2017年度上期末	458	58	371	382	56	42
	2016年度末	473	66	191	327	52	40
	2016年度上期末	504	55	160	304	49	35
資本合計	2017年度上期末	382	△ 3	207	271	32	32
	2016年度末	378	0	169	224	31	31
	2016年度上期末	377	2	148	210	27	26
従業員数(人)	2017年度上期末	704	123	157	328	552	135
	2016年度末	726	126	143	321	543	127
	2016年度上期末	755	130	108	307	558	127

※ 上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

(注) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。



### 3 2017年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

#### ① 損益予想

(単位:億円)

	2017年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較			主なポイント (当初予想比較)
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2016年度実績	増減額	増減率%	
売上収益	4,330	4,410	△ 80	△ 1.8	4,239	90	2.1	P9「② 主要製品売上収益予想」参照
国内	3,246	3,255	△ 8	△ 0.3	3,203	42	1.3	
海外 海外売上比率	1,083 25.0%	1,155 26.2%	△ 71	△ 6.2	1,036 24.4%	47	4.6	
売上原価 売上原価率	1,695 39.1%	1,695 38.4%	-	-	1,643 38.8%	51	3.1	ロイヤリティ収入等の減額、シンボニーの増額等、製品構成の変化による売上原価率上昇
売上総利益	2,635	2,715	△ 80	△ 2.9	2,595	39	1.5	
販管費 販管費比率	1,040 24.0%	1,050 23.8%	△ 10	△ 1.0	983 23.2%	56	5.8	業務生産性改革に伴う経費削減等により減額
研究開発費 研究開発費比率	765 17.7%	735 16.7%	30	4.1	647 15.3%	117	18.1	ニューロゲームの連結子会社化に伴う増加など
製品に係る無形 資産償却費	25	25	-	-	15	9	63.6	
その他損益(注3)	△ 5	△ 5	-	-	△ 4	△ 0	-	
コア営業利益	800	900	△ 100	△ 11.1	945	△ 145	△ 15.4	
非経常項目(注3)	10	-	10	-	△ 4	14	-	
営業利益	810	900	△ 90	△ 10.0	940	△ 130	△ 13.9	
税引前利益	820	910	△ 90	△ 9.9	960	△ 140	△ 14.6	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	635	715	△ 80	△ 11.2	712	△ 77	△ 10.9	
総人件費	732	728	4	0.5	727	4	0.7	

(注1) 当社は2017年10月24日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2017年5月10日、2016年度決算発表時に公表した2017年度業績予想数値

(注3) 費用・損失の場合に△表示にしております。

#### 為替レート

	2017年度下期 修正計画レート	2016年度 平均レート
米ドル	110.00	108.72
ユーロ	115.00	118.68

② 主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2017年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較		
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2016年度実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,154	3,154	-	-	3,142	12	0.4
レミケード	647	647	-	-	668	△ 21	△ 3.2
シンボニー	303	290	13	4.6	249	54	21.9
タリオン	208	208	-	-	189	18	9.7
テネリア	191	191	-	-	165	25	15.4
レクサプロ	129	129	-	-	112	16	14.6
セレジスト	108	108	-	-	123	△ 14	△ 11.7
メインテート	102	102	-	-	118	△ 16	△ 13.5
カナグル	69	69	-	-	34	34	99.0
クレメジン	66	66	-	-	75	△ 9	△ 11.9
ラジカット	62	62	-	-	58	3	5.9
イムセラ	51	51	-	-	49	2	4.1
ウルソ	50	50	-	-	61	△ 10	△ 17.2
ワクチン	361	391	△ 30	△ 7.8	389	△ 28	△ 7.3
インフルエンザ	100	141	△ 40	△ 28.9	127	△ 27	△ 21.5
テトラビック	92	92	-	-	99	△ 7	△ 7.5
水痘ワクチン	57	57	-	-	54	3	5.5
ミールビック	52	52	-	-	59	△ 6	△ 10.6
田辺製薬販売取扱品(注3)	66	69	△ 2	△ 4.1	141	△ 75	△ 53.1
海外医療用医薬品	324	324	-	-	226	98	43.2
ラジカヴァ	72	非開示	-	-	-	72	-
ヘルベッサ	68	68	-	-	60	8	13.6
アルガトロバン	19	19	-	-	19	△ 0	△ 3.0
シンボニー	16	16	-	-	14	1	11.2
タナトリン	15	15	-	-	16	△ 1	△ 6.1
ロイヤリティ収入等	802	874	△ 71	△ 8.2	822	△ 19	△ 2.4
ジェニア ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	537	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	188	-	-
一般用医薬品	41	50	△ 8	△ 17.6	34	7	22.9
その他(注4)	5	5	-	-	14	△ 8	△ 57.9
売上収益合計	4,330	4,410	△ 80	△ 1.8	4,239	90	2.1

(注1) 当社は2017年10月24日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2017年5月10日、2016年度決算発表時に公表した2017年度業績予想数値

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注4) 他社製品の製造受託品等

③ 設備投資／情報システム開発投資予想 (単位:億円)

	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	69	126	△ 57	△ 45.5
システム投資額／発生ベース	24	18	5	32.3

2017年度の主な設備投資予定		2017年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	31億円	研究開発関係システム	9億円
研究開発関係設備	29億円	生産関係システム	1億円
その他	8億円	その他	14億円

④ 減価償却費および償却費予想 (単位:億円)

	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	84	73	10	14.6
無形資産(製品に係るものを除く)	16	15	0	0.2
製品に係る無形資産	25	15	9	63.6

## 4 5ヵ年連結財務数値

### 日本基準 (億円未満四捨五入)

#### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	4,192	4,127	4,151	4,317
売上原価	1,664	1,694	1,696	1,558
売上総利益	2,528	2,433	2,455	2,759
販管費	1,838	1,842	1,784	1,810
研究開発費	665	704	696	753
営業利益	690	591	671	949
経常利益	694	619	677	948
特別利益	42	153	137	141
特別損失	59	48	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	419	454	395	564

#### ② 貸借対照表

(単位:億円)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
総資産	8,668	8,865	9,293	9,302
流動資産	4,767	5,405	6,036	6,573
固定資産	3,901	3,460	3,257	2,730
負債	1,139	1,086	1,289	1,135
流動負債	861	818	1,054	913
固定負債	277	268	235	222
純資産	7,529	7,778	8,004	8,167

#### ③ その他財務数値

(単位:億円)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	606	699	682	652
投資キャッシュ・フロー	△ 350	△ 243	△ 598	△ 266
財務キャッシュ・フロー	△ 237	△ 211	△ 219	△ 222
設備投資	92	126	157	112
情報システム開発投資	22	21	16	9
減価償却費	84	92	90	88
自己資本比率(%)	86.3	86.4	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.7	6.0	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	74.67	80.92	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,333.22	1,365.52	1,406.41	1,436.63

## IFRS (億円未満切り捨て)

## ① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度上期	2017年度予想
売上収益	4,257	4,239	2,133	4,330
売上原価	1,558	1,643	845	1,695
売上総利益	2,699	2,595	1,288	2,635
販管費	963	983	514	1,040
研究開発費	646	647	363	765
コア営業利益	1,069	945	397	800
営業利益	818	940	368	810
税引前(四半期)利益	832	960	375	820
当期(四半期)利益	570	689	282	600
親会社の所有者に 帰属する当期(四半期)利益	593	712	298	635

## ② 財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度 上期末
資産	9,584	9,845	10,190
非流動資産	3,082	3,007	3,312
流動資産	6,501	6,837	6,877
負債	1,321	1,131	1,243
非流動負債	332	247	256
流動負債	989	884	987
資本	8,263	8,714	8,947

## ③ その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度上期	2017年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	297	-
投資キャッシュ・フロー	△ 422	△ 105	1263	-
財務キャッシュ・フロー	△ 222	△ 244	△ 135	-
設備投資	112	126	25	69
情報システム開発投資	9	18	5	24
減価償却費 および償却費	103	104	56	125
親会社所有者帰属 持分比率(%)	85.1	87.4	86.5	-
親会社所有者帰属持分 当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	6.8	-
基本的1株当たり 当期(四半期)利益(円)	105.72	127.03	53.18	113.22
1株当たり親会社所有者 帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	1,572.41	-

## ④ 従業員数

(単位:人)

	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度 上期末	2017年度末 予想
連結	8,835	9,065	8,457	8,125	7,280	7,289	7,200
単体	4,850	4,867	4,844	4,780	4,239	4,246	4,230

## 5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2016年度					2017年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想 (注1)	通期予想 (注1)
売上収益	1,054 24.9%	986 23.3%	1,202 28.4%	996 23.5%	4,239 100.0%	1,077 24.9%	1,056 24.4%	2,196 50.7%	4,330 100.0%
国内	804 25.1%	749 23.4%	932 29.1%	716 22.4%	3,203 100.0%	820 25.3%	786 24.2%	1,638 50.5%	3,246 100.0%
海外	250 24.2%	236 22.8%	269 26.0%	279 27.0%	1,036 100.0%	256 23.6%	269 24.9%	557 51.4%	1,083 100.0%
売上原価	400	383	486	374	1,643	425	419	849	1,695
売上原価率	38.0%	38.9%	40.4%	37.6%	38.8%	39.5%	39.7%	38.7%	39.1%
売上総利益	654 25.2%	603 23.2%	716 27.6%	621 24.0%	2,595 100.0%	651 24.7%	637 24.2%	1,346 51.1%	2,635 100.0%
販管費	215 22.0%	250 25.5%	243 24.8%	272 27.7%	983 100.0%	244 23.5%	270 26.0%	525 50.5%	1,040 100.0%
研究開発費	145 22.4%	158 24.4%	147 22.8%	197 30.4%	647 100.0%	180 23.6%	182 23.9%	401 52.4%	765 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	3 24.1%	3 24.1%	3 24.2%	4 27.6%	15 100.0%	5 21.1%	5 21.1%	14 57.8%	25 100.0%
その他損益(注2)	0 -	△ 0 -	△ 1 -	△ 2 -	△ 4 -	△ 1 -	△ 1 -	△ 2 -	△ 5 -
コア営業利益	290 30.7%	189 20.0%	319 33.9%	145 15.4%	945 100.0%	219 27.5%	177 22.2%	402 50.3%	800 100.0%
営業利益	292 31.0%	186 19.8%	319 34.0%	143 15.2%	940 100.0%	210 26.0%	158 19.5%	441 54.5%	810 100.0%
税引前(四半期)利益	302 31.5%	191 19.9%	320 33.4%	145 15.2%	960 100.0%	219 26.8%	155 19.0%	444 54.2%	820 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	219 30.7%	143 20.2%	238 33.5%	110 15.5%	712 100.0%	169 26.7%	128 20.2%	336 53.0%	635 100.0%

※ 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 当社は2017年10月24日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 費用・損失の場合に△表示にしております。

## ② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2016年度					2017年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想 (注1)	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	784 25.0%	735 23.4%	913 29.1%	708 22.5%	3,142 100.0%	799 25.4%	773 24.5%	1,581 50.1%	3,154 100.0%
レミケード	173 26.0%	164 24.7%	182 27.3%	147 22.1%	668 100.0%	168 26.0%	161 24.9%	317 49.1%	647 100.0%
シンボニー	63 25.3%	58 23.6%	69 27.9%	57 23.2%	249 100.0%	75 24.8%	77 25.6%	150 49.5%	303 100.0%
タリオン	41 21.7%	33 17.7%	52 27.8%	62 32.9%	189 100.0%	40 19.3%	39 18.9%	128 61.8%	208 100.0%
テネリア	38 23.4%	41 25.3%	51 31.0%	33 20.3%	165 100.0%	46 24.5%	46 24.5%	97 51.0%	191 100.0%
レクサプロ	28 25.4%	26 23.7%	31 28.3%	25 22.6%	112 100.0%	31 24.2%	31 24.1%	66 51.7%	129 100.0%
セレジスト	35 28.9%	29 23.8%	33 27.3%	24 20.0%	123 100.0%	30 28.3%	26 23.9%	51 47.8%	108 100.0%
メインテート	33 28.3%	27 23.4%	32 27.3%	24 21.1%	118 100.0%	29 29.1%	26 25.4%	46 45.5%	102 100.0%
カナグル	7 20.6%	7 22.8%	10 30.9%	9 25.8%	34 100.0%	14 20.9%	12 17.6%	42 61.5%	69 100.0%
クレメジン	21 28.1%	18 24.5%	20 27.1%	15 20.3%	75 100.0%	17 26.6%	15 23.9%	32 49.5%	66 100.0%
ラジカット	15 27.2%	14 24.1%	16 28.5%	11 20.3%	58 100.0%	14 23.1%	14 23.8%	33 53.1%	62 100.0%
イムセラ	13 26.6%	11 23.4%	13 28.5%	10 21.6%	49 100.0%	12 25.3%	11 22.9%	26 51.9%	51 100.0%
ウルソ	17 28.6%	14 24.2%	16 26.6%	12 20.5%	61 100.0%	14 28.6%	12 25.3%	23 46.1%	50 100.0%
ワクチン	73 18.8%	91 23.5%	146 37.5%	78 20.1%	389 100.0%	68 19.0%	76 21.1%	216 59.9%	361 100.0%
インフルエンザ	△ 1 △ 0.9%	26 20.6%	85 66.6%	17 13.7%	127 100.0%	△ 0 △ 0.3%	11 11.3%	89 89.0%	100 100.0%
テトラビック	27 27.7%	23 23.4%	25 25.6%	23 23.3%	99 100.0%	23 25.4%	20 22.8%	47 51.8%	92 100.0%
水痘ワクチン	14 26.5%	13 25.3%	13 24.6%	12 23.7%	54 100.0%	14 25.2%	12 21.8%	30 53.0%	57 100.0%
ミールビック	17 29.1%	15 26.2%	12 20.6%	14 24.1%	59 100.0%	15 29.8%	13 25.0%	23 45.2%	52 100.0%
田辺製薬販売 取扱品(注2)	35 24.8%	33 23.5%	40 28.3%	33 23.4%	141 100.0%	34 51.4%	32 48.6%	0 0.0%	66 100.0%
海外医療用医薬品	55 24.6%	50 22.5%	55 24.3%	65 28.7%	226 100.0%	59 18.3%	80 24.8%	185 56.9%	324 100.0%
ラジカヴァ	- -	- -	- -	- -	- -	- -	11 16.2%	60 83.8%	72 100.0%
ヘルベッサー	15 25.0%	13 22.4%	15 25.7%	16 26.9%	60 100.0%	15 21.9%	16 24.0%	37 54.1%	68 100.0%
アルガトロバン	5 26.8%	4 24.5%	4 25.3%	4 23.4%	19 100.0%	4 24.9%	5 27.3%	9 47.8%	19 100.0%
シンボニー	3 21.5%	3 23.1%	3 25.7%	4 29.6%	14 100.0%	4 27.8%	4 28.9%	7 43.4%	16 100.0%
タナドール	5 34.7%	3 21.2%	3 20.5%	3 23.6%	16 100.0%	3 22.7%	4 27.7%	7 49.6%	15 100.0%
ロイヤリティ収入等	198 24.1%	187 22.7%	220 26.9%	216 26.3%	822 100.0%	204 25.5%	191 23.9%	406 50.6%	802 100.0%
ジレニア ロイヤリティ	138 25.8%	137 25.5%	144 26.9%	117 21.9%	537 100.0%	145 -	149 -	非開示 -	非開示 -
インヴォカナ ロイヤリティ	49 26.4%	40 21.5%	63 33.4%	35 18.6%	188 100.0%	36 -	36 -	非開示 -	非開示 -
一般用医薬品	10 29.7%	9 27.2%	9 27.7%	5 15.3%	34 100.0%	11 27.7%	10 24.0%	20 48.3%	41 100.0%
その他(注3)	6 48.6%	3 21.8%	2 21.1%	1 8.6%	14 100.0%	1 27.0%	0 15.8%	3 57.2%	5 100.0%
売上収益合計	1,054 24.9%	986 23.3%	1,202 28.4%	996 23.5%	4,239 100.0%	1,077 24.9%	1,056 24.4%	2,196 50.7%	4,330 100.0%

※ 各項目の下端は進捗率を表示

(注1) 当社は2017年10月24日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。なお、当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 6 新製品開発状況について(2017年11月1日現在)

### ① 自己免疫疾患

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、 米国	フェーズ 1	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (炎症・自己免疫疾患 等)	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-2990	炎症・自己免疫疾患 等	欧州	フェーズ 1	自社創製品

### ② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請 (2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リスク低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国	申請 (2017年9月)	自社創製品 ヤンセンファーマシューティカルズ (米)に導出
		欧州	申請 (2017年10月)	
	(糖尿病性腎症)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者:ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント(米)
MP-513 (テネグリプチン臭化水 素酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	申請 (2015年4月)	自社創製品
		中国	フェーズ 3	
		欧州	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
	(非アルコール性脂肪性肝炎)	日本	フェーズ 2	
MT-6548	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本	フェーズ 2	アケビア(米)から導入



③ 中枢神経系疾患

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本	フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイ エンシズ(米)から導入
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエン ス(米)へ導出
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (大うつ病)	欧州	フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエン ス(米)へ導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州	フェーズ 2	自社創製品
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州	フェーズ 2	自社創製品
ND0801 (ニコチン/オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル	フェーズ 2	自社創製品
MP-124	神経系用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
ND0701 (アポモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	欧州	フェーズ 1	自社創製品

\*選択的セロトニン取り込み阻害/セロトニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ $\alpha$ 1Aと $\alpha$ 1Bアドレナリン受容体の調節

④ ワクチン

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本	フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日) と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、欧州、 カナダ他	フェーズ 3	自社創製品
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社創製品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社創製品

⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源/導出先等
ノバスタン (アルガトロバン水和物)	選択的抗トロンピン剤 (脳血栓症急性期)	中国	申請 (2017年2月)	自社創製品
MT-4580 (エボカルゼト)	カルシウム受容体作動剤 (維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	申請 (2017年4月)	協和発酵キリン(日)に 導出
	(副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症)	日本	フェーズ 3	
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	サマファーマ(韓)に導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ	フェーズ 2	メルク(米)に導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	米国	フェーズ 1	自社創製品
MP-157	循環器官用剤	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	日本	フェーズ 1	自社創製品
sTU-199 (テナトプラゾール)	消化器官用剤	欧州	フェーズ 1	ネグマ/シテム(仏)に導出
MT-4129	循環器官用剤 等	欧州	フェーズ 1	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	中国	フェーズ 1	上海医薬集団(中)と 共同研究

2017年度第1四半期決算発表時点(2017年7月31日)からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表 時点	2017年11月1日 現在	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア	記載なし	申請 (2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管 疾患リスクがある2型糖尿病における死亡リ スク低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国	記載なし	申請 (2017年9月)	自社創製品 ヤンセンファーマ シューティカルズ(米) に導出
		欧州	記載なし	申請 (2017年10月)	
MT-5199	小胞モノアミトランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本	フェーズ 1	フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオ サイエンシズ(米)から 導入
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、欧州、 カナダ他	フェーズ 2	フェーズ 3	自社創製品
MT-4580 (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能 亢進症における高カルシウム血症)	日本	記載なし	フェーズ 3	協和発酵キリン(日)に 導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州	フェーズ 1	フェーズ 2	自社創製品
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州	記載なし	フェーズ 2	自社創製品
ND0801 (ニコチン/ オピプラモール)	経皮剤 (中枢神経系疾患に伴う認知障害)	イスラエル	記載なし	フェーズ 2	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	中国	記載なし	フェーズ 1	上海医薬集団(中)と 共同研究
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	欧州	記載なし	フェーズ 1	自社創製品
FTY720 イムセラ/ジレニア (フィンゴリモド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴ ニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	日本、米国、 欧州他	フェーズ 3 国際共同治験	削除 (開発中止)	自社創製品 日本はノバルティスファーマ(日)と共同開発、海外 はノバルティス(スイス)に 導出
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (1型糖尿病)	米国、カナダ	フェーズ 2	削除 (開発中止)	自社創製品 ヤンセンファーマシュー ティカルズ(米)に導出
	(肥満・フェンテルミンとの併用)	米国	フェーズ 2		
MP-214 (カリプラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本、アジア	フェーズ 2/3	削除 (ゲデオンリヒ ターとのライセン ス契約変更)	ゲデオンリヒター(ハン ガリー)から導入
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	削除 (千寿製薬との ライセンス契約 解約)	千寿製薬(日)に 導出

## 7 その他

### 1. 関係会社

#### ① 関係会社数

	2017年度上期末	2016年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	27	1	増加)田辺パルムサービス
関連会社および ジョイントベンチャー数	2	1	1	増加)BIKEN
合計	30	28	2	

#### ② 連結子会社一覧

(2017年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	バイファ	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
5	田辺製薬販売(注)	100百万円	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
6	田辺総合サービス	90百万円	100.0 (—)	3月末	宣伝物制作等
7	田辺パルムサービス	10百万円	100.0 (100.0)	3月末	印刷業務、社内郵便業務、オフィスサポート業務
8	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
9	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
10	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
11	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
12	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
13	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 389.2 Mill.	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
14	メディカゴ	CAD 497.0 Mill.	60.0 (57.4)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
15	メディカゴ U.S.A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
16	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
17	田辺三菱製薬研究(北京)	USD 1Mill.	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
18	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
19	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
20	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
21	タナベ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
22	MT ファーマ シンガポール	SGD 300,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の開発
23	MT ファーマ タイランド	THB103 Mill.	100.0 (98.0)	3月末	医薬品の販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
25	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
26	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムベーパー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡いたしました。

\* 上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

#### ③ 関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2017年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1.6 Mill.	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
2	BIKEN		33.4 (—)	3月末	ワクチンを含む生物学的製剤の製造・販売

## 2. 株式の状況

### ① 発行済株式数

	2017年9月末	2017年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数(注)	641,386	429,753
期末発行済株式数	560,776,530	560,988,163
期中平均自己株式数	490,301	429,206
期中平均株式数	560,927,615	560,988,710

(注) 2017年9月末の期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式が211,100株含まれております。

### ② 大株主の状況

順位	株主名	2017年9月末		2017年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	25,254	4.50%	2	25,657	4.57%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	13,142	2.34%	4	11,439	2.04%
4	日本生命保険	8,446	1.50%	3	12,065	2.15%
5	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	6,501	1.16%	6	6,087	1.08%
6	三菱東京UFJ銀行	5,754	1.03%	5	7,254	1.29%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	4,607	0.82%	8	4,483	0.80%
8	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	4,190	0.75%	7	5,477	0.98%
9	MSCO CUSTOMER SECURITIES	4,052	0.72%	63	694	0.12%
10	ニプロ	3,821	0.68%	10	3,821	0.68%

### ③ 所有者別株式分布状況(単元株)

	2017年9月末			2017年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	73	92,562	16.49%	73	98,612	17.57%
外国法人等	633	112,852	20.11%	592	105,370	18.77%
個人・その他(注)	13,399	22,125	3.94%	13,741	22,667	4.04%
その他の法人	221	329,827	58.76%	225	329,824	58.76%
金融商品取引業者	31	3,943	0.70%	30	4,836	0.86%
合計	14,357	561,310	100.00%	14,661	561,311	100.00%
(単元未満株式の状況)	-	107	-	-	106	-

\* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2017年9月末430千株、2017年3月末429千株)を含んでおります。

### ④ 配当金/株価推移

(日本基準)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	40	40	42	46
配当性向(%)	53.6	49.4	59.6	45.7
(のれん償却前)	(43.2)	(40.5)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	1,445	1,443	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	8,112	8,101	11,576	10,987

(IFRS)	2015年度	2016年度	2017年度上期	2017年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	52	38*	66*
配当性向(%)	43.5	40.9	-	58.3
期末株価(円)	1,957	2,318	2,580	-
株式時価総額(億円)	10,987	13,014	14,485	-

\*当社は、本年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当(10円)を実施いたします。

## 主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗TNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2015年8月に腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病、2015年12月に川崎病の効能を追加し、2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について、2017年5月にはクローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)について承認を取得した。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗TNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴う痒みから早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトニントランスポーターに高い選択性を持つSSRIで、世界98の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得した。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 $\beta$ 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的な<math>\beta</math>1遮断剤。極めて高い<math>\beta</math>1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加。</p> <p>オリジン:(独)メルクセロー</p>			
カナグル	2014年9月発売	薬効	SGLT2阻害剤
<p>カナグル(一般名:カナグリフロジン水和物)は、当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体(sodium glucose co-transporter;SGLT)2阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿糖排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め世界78カ国以上で承認されており、これらの国ではヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している(2017年3月現在)。</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカールスカベンジャー
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカールスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p> <p>筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。</p>			

イムセラ	2011年11月発売	薬効	多発性硬化症治療剤
多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中樞神経系への浸潤を阻止する。多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。			
インフルエンザワクチン	1972年9月発売	薬効	インフルエンザの予防
季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更された。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効	水痘および50歳以上の者に対する带状疱疹の予防
水痘(みずぼうそう)の予防に用いられるワクチンで、2014年に定期接種化された。また、2016年、50歳以上の者に対する带状疱疹の予防に関する効果・効果が承認された。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。 オリジン・製造販売元：一般財団法人阪大微生物病研究会			



## ニュースリリース

2017年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2017年 4月17日	海外子会社 MT ファーマ タイランドに関するお知らせ～アセアン地域における事業展開を強化～
4月24日	2型糖尿病治療剤「カナグル錠100mg」台湾にて輸入販売承認取得
4月26日	業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ
4月27日	落語を楽しみながら大阪の歴史にふれる、「道修町たなみん寄席」が始まります！
5月8日	新しいALS治療の選択肢を 日本発で 米国の患者さんに ALS治療薬「ラジカヴァ」の米国FDAによる承認取得について
5月9日	ワクチン製造の合併会社「株式会社BIKEN」設立のお知らせ
5月10日	遺伝子組換え人血清アルブミン製剤における事業構造見直しに関するお知らせ
5月16日	エダラボンのALS治験論文掲載(The Lancet Neurology)について
5月18日	抗ヒTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」クローン病に関する用法・用量の一部変更承認の取得について
6月1日	グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)第2期への資金拠出について - 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざして -
6月12日	田辺製薬販売株式会社の株式譲渡後の新社名について
6月15日	-アリピプラゾールなど、5成分19品目を販売開始- 田辺製薬販売 ジェネリック医薬品 新発売に関するお知らせ
6月20日	米国におけるフィンゴリモド塩酸塩 特許侵害訴訟の地裁勝訴について
6月30日	第23回夏季デフリンピック競技大会(トルコ開催)のデフバレーボール女子日本代表に当社社員が選出
6月30日	ジェネリック医薬品事業等の吸収分割契約締結に関するお知らせ
7月3日	国内初のDPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の配合剤 選択的DPP-4阻害剤「テネリア錠」とSGLT2阻害剤「カナグル錠」の配合剤 2型糖尿病治療剤「カナリア配合錠」の国内製造販売承認取得
7月18日	九州北部豪雨災害に対する義援金について
7月24日	ニューロゲーム社の買収手続き開始の合意について
7月27日	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤MT-5199の遅発性ジスキネジア患者を対象とした国内第2/3相臨床試験開始のお知らせ
8月17日	抗NGF抗体MT-5547の変形性関節症患者を対象とした国内第2/3相臨床試験開始のお知らせ
9月4日	ワクチン製造の合併会社「株式会社BIKEN」操業開始のお知らせ
9月7日	国内初のDPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の配合剤 選択的DPP-4阻害剤「テネリア錠」とSGLT2阻害剤「カナグル錠」の配合剤 2型糖尿病治療剤「カナリア配合錠」発売のお知らせ
9月13日	当社によるニューロゲーム社買収に係る同社株主総会における承認決議に関するお知らせ
9月21日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」第6期(2018年度)助成団体募集のお知らせ
9月25日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン」に関する特許侵害行為差止めに関する仮処分命令の申立てについて
9月27日	季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来VLPワクチンの第3相臨床試験開始のお知らせ
9月27日	新しい作用機序をもつアレルギー性疾患治療剤 DUAL作用(抗PAF作用と抗ヒスタミン作用)で強力な効果を発揮 「ルバフィン錠10mg」の製造販売承認取得のお知らせ
10月2日	(開示事項の経過)子会社の異動(株式譲渡)完了に関するお知らせ
10月11日	アステラス製薬、田辺三菱製薬および第一三共によるドラッグリポジショニング化合物ライブラリーを用いた新薬探索プログラム「JOINUS」の実施に関するお知らせ - 製薬企業の化合物を用いたオープンインベーションによる日本発の創薬に向けて、国内に研究拠点をもち製薬企業3社が連携 -
10月18日	ニューロゲーム社の買収完了(完全子会社化)に関するお知らせ
10月26日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン」に関する特許侵害行為差止めに関する仮処分命令申立ての取下げについて